

2020年度 香川大学危機管理シンポジウム を開催しました

令和2年11月27日（金）[13:30～16:45]、サンポートホール高松 4階 第1小ホールにおいて、「2020年度 香川大学危機管理シンポジウム」を開催しました。（主催：四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構、共催：（一社）国立大学協会、（公社）土木学会四国支部香川地区、土木学会安全問題研究委員会、大学コンソーシアム香川）

当シンポジウムでは、新型コロナウイルス感染症対策として、入場前の検温と手指消毒の実施、会場の3密回避やアクリルパネルの設置等の措置を講じました。また、会場では参加人数を会場の収容人数の3分の1まで制限した上で全席指定にし、YouTubeによるオンライン同時配信も行いました。

(1) 内容：

- ①主催者挨拶 笥 善行（香川大学長）
- ②来賓挨拶 野本 粹浩氏 国土交通省 四国地方整備局 統括防災官
寺嶋 賢治氏 香川県 危機管理総局長
網本 哲郎氏 高松市 総務局長（神戸大学）
- ③機構の活動状況報告
危機管理先端教育研究センター長 教授 長谷川修一
- ④基調講演Ⅰ 演題：『南海トラフ巨大地震への備え～Withコロナ環境下でのレジリエンスを考える～』
講師：香川大学 名誉教授（香川県防災士会会長） 白木 渡
- ⑤基調講演Ⅱ 演題：『災害対応と感染症対策』
講師：香川大学 医学部教授 平尾 智広

(2) 参加人数：318名（内訳：会場参加 90名、オンライン参加 228名）

(3) コロナ対策：会場の人数制限（会場募集定員：90名 [収容人数：312名]）
検温の実施、アルコール消毒液の設置、アクリル板設置、会場は全席指定

(4) 開催状況



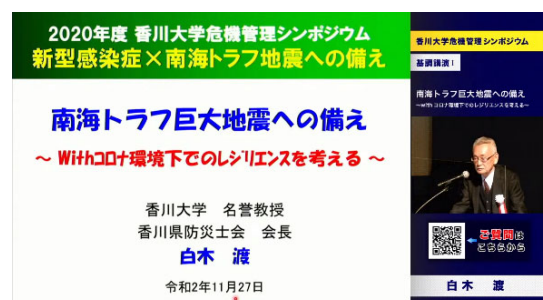
主催者挨拶



基調講演Ⅱ：平尾教授



会場の様子



YouTube 配信